

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年6月末）

～暗証番号を聞き出しネットバンキングを不正開設する新たな手口を認知！！警戒を！～

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年6月末）

- 被害認知件数は**53件**（前年同期比+17件）
- 被害総額は**約1億4,121万円**（前年同期比+約9,072万円）

2 令和4年6月の認知状況

- 被害認知件数は**4件**（前年同月比-12件）
- 被害額は**約77万円**（前年同月比-約819万円）
- 主な手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 3件
 - ・ 還付金詐欺 1件

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年6月中）

6月中のニセ電話詐欺認知件数は4件と、前年同月と比較して大幅に減少しました。今年に入り、これまで前年同月比が毎月増加していた認知件数が、今月初めて減少に転じたこととなります。

6月は『ニセ電話詐欺根絶旬間』を設定して集中した取組を実施し、その初日には4年ぶりとなる「ニセ電話詐欺対策官民合同会議」を開催しましたが、今回認知件数が減少に転じ、一定の歯止めの効果が見られたのは、官民合同会議参加事業所・団体の皆さまや、日頃から御協力をいただいている県内事業者や県民の皆様のおかげによる大きなところを感じています。改めて感謝申し上げます。

一方で、ニセ電話詐欺の予兆と思われる不審電話が引き続き発生しています。金融機関の口座番号と暗証番号を聞き出し、勝手にネットバンキングの開設手続きをしてお金をだまし取る新たな手口（ネットバンキング開設に必要なパスワードも聞き出されます）が発生し、その予兆電話も多発しました。従来の還付金詐欺の予兆電話も頻発しています。

まだまだ、ニセ電話詐欺の被害増加に歯止めがかかったとまでは言い難い状況です。今後とも、引き続きニセ電話詐欺に係る対策への御協力と警戒をお願いします。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢		令和4年6月末(人)		
		男性	女性	計
0	～ 19	-	-	-
20	～ 29	3	2	5
30	～ 39	-	1	1
40	～ 49	1	3	4
50	～ 59	6	2	8
60	～ 64	1	5	6
65	～ 69	8	9	17
70	～ 79	3	3	6
80	～ 89	3	3	6
90	～	-	-	-
合計		25	28	53
うち65歳以上の高齢者		14	15	29

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年4月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	24
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	24
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	53